

4 財政状態（貸借対照表）について

(1) 財政状態の概括

貸借対照表に示される財政状態は、次表のとおりである。

(単位:千円・%)

区 分	平成24年度		平成23年度		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
資 産	37,451,967	100	36,706,139	100	745,828	2.0
固定資産	33,298,652	88.9	32,424,226	88.3	874,426	2.7
流動資産	4,153,315	11.1	4,281,913	11.7	128,598	3.0
資産合計(総資産)	37,451,967	100	36,706,139	100	745,828	2.0
負 債	2,581,041	6.9	2,361,315	6.4	219,726	9.3
固定負債	1,162,014	3.1	1,141,114	3.1	20,900	1.8
流動負債	1,419,027	3.8	1,220,201	3.3	198,826	16.3
資 本	34,870,926	93.1	34,344,824	93.6	526,102	1.5
資本金	23,588,335	63.0	23,811,736	64.9	223,401	0.9
剰余金	11,282,591	30.1	10,533,088	28.7	749,503	7.1
負債資本合計	37,451,967	100	36,706,139	100	745,828	2.0

前年度からの財政状態の動向

審査資料「水道事業年次表（貸借対照表）」で見ると、負債、資本ともに前年度に引き続いて増加しており、それぞれ9.3%、1.5%の増となっている。その結果、負債や資本によって資金を調達して得られる資産も増加し、2.0%の増となっている。

(2) 資 産

ア 固定資産

固定資産は、前年度と比べ、有形固定資産の増により2.7%増加している。これは、配水管布設改良事業の実施や、浄水施設機械装置の設置などによるものである。無形固定資産については、前年度に引き続き、増減はない。

【増減費目】

[増 加 分]	[減 少 分]
・有形固定資産 874,426 千円	(な し)

イ 流動資産

流動資産は、前年度と比べ、3.0%減少している。これは主に、起債借入がなかったことなどによる現金及び預金の減少が、前払金の増加を上回ったためである。

【主な増減費目】

[増 加 分]	[減 少 分]
・前払金 256,391 千円	・現金及び預金 353,828 千円
	・未収金 26,778 千円

(3) 負債

ア 固定負債

固定負債は、前年度と比べ、1.8%増加している。これは、退職給与引当金は、本年度は退職給与金の増加により繰入れがなかったものの、修繕引当金に、原水及び浄水費の修繕費の執行残額 2,090 万円を繰り入れたことによる。

【増減費目】

[増加分]		[減少分]
・修繕引当金	20,900 千円	(なし)

引当金の推移

(単位:千円)

区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
退職給与引当金	引当額	25,162	54,586	0	8,725	0
	取崩し額	0	0	47,066	0	0
	残高	669,902	724,488	677,422	686,147	686,147
修繕引当金	引当額	0	28,000	3,400	20,200	20,900
	取崩し額	0	0	0	0	0
	残高	403,367	431,367	434,767	454,967	475,867
引当金合計		1,073,269	1,155,855	1,112,189	1,141,114	1,162,014

イ 流動負債

流動負債は、前年度と比べ、16.3%と大幅に増加している。これは、営業未払金、未払工事代金などの増加により、未払金が 22.9%と大きく増加したことによる。

【増減費目】

[増加分]		[減少分]
・未払金	193,407 千円	(なし)
・預り金	5,419 千円	

(4) 資本

ア 資本金

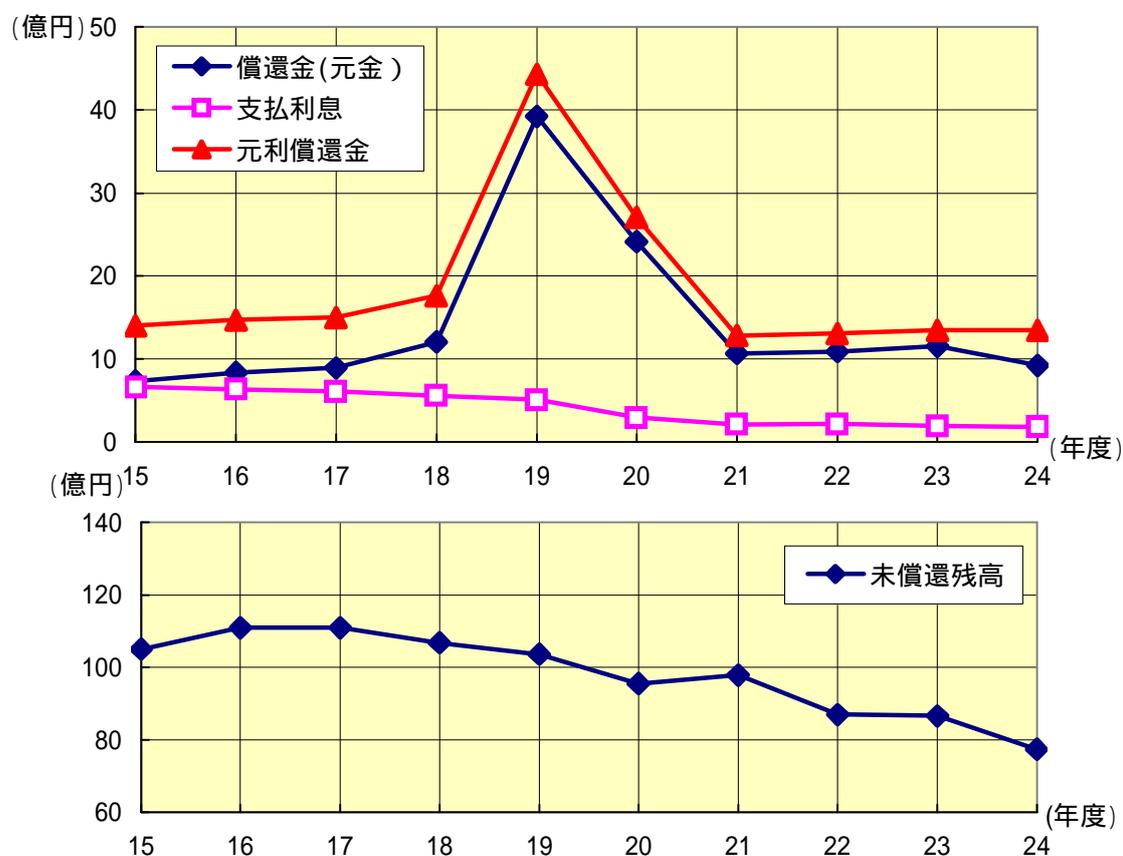
自己資本金の増加は、企業債の償還に充てた減債積立金 7 億円の振替によるものである。借入資本金は、本年度は企業債の借入れがなかった一方で、9 億 2,340 万 1 千円の償還を行ったため、同額が減少している。

【増減費目】

[増加分]		[減少分]	
・自己資本金	700,000 千円	・借入資本金(企業債)	923,401 千円

なお、企業債の本年度末未償還残高は、77億3,665万5千円となっている。最近10年間の推移は、次表のとおりである。

企業債元利償還額及び未償還残高の推移



(単位: 千円)

区分	償還金(元金)	支払利息	元利償還金	借入額	未償還残高
平成15年度	737,351	662,417	1,399,768	900,000	10,505,004
平成16年度	833,589	636,694	1,470,283	1,422,193	11,093,608
平成17年度	894,252	608,761	1,503,013	894,400	11,093,756
平成18年度	1,204,885	558,786	1,763,671	789,800	10,678,671
平成19年度	3,920,873	509,789	4,430,662	3,605,600	10,363,398
平成20年度	2,413,368	293,794	2,707,162	1,598,300	9,548,329
平成21年度	1,067,703	213,224	1,280,927	1,304,800	9,785,426
平成22年度	1,091,317	216,810	1,308,127	0	8,694,109
平成23年度	1,154,053	193,309	1,347,362	1,120,000	8,660,056
平成24年度	923,401	181,622	1,105,023	0	7,736,655

(備考)

- 平成16年度の借入額には、旧城島町及び旧三瀨町からの合併引継ぎ分5億7,219万3千円を含む。
- 各数値については千円単位で表示しており、表中で未償還残高を算出した場合と異なるものがある。

イ 剰余金

剰余金は、資本剰余金の増加が、利益剰余金の減少を上回ったため、前年度と比べ、7.1%増加している。

資本剰余金

【増減費目】

[増加分]		[減少分]
・受贈財産評価額	533,714千円	(なし)
・国県市補助金	134,000千円	
・加入金	104,890千円	
・工事負担金	88,900千円	

利益剰余金

【増減費目】

[増加分]		[減少分]
(なし)		・当年度未処分利益剰余金 112,000千円

積立金及び未処分利益剰余金の推移

(単位:千円)

区 分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
減債 積立金	積立額	900,000	600,000	600,000	700,000	700,000
	処分額	900,000	600,000	600,000	700,000	700,000
	残高	0	0	0	0	0
建設 改良 積立金	積立額	0	0	0	0	0
	処分額	0	0	0	0	0
	残高	283,650	283,650	283,650	283,650	283,650
未処分 利益 剰余金	処分額	900,000	600,000	600,000	700,000	700,000
	当年度 純利益	613,072	655,290	707,612	626,478	587,999
	残高	732,090	787,380	894,992	821,470	709,470
利益剰余金合計		1,015,740	1,071,030	1,178,642	1,105,120	993,120

(備考) 平成23年度未処分利益剰余金残高から24年度未処分利益剰余金処分額を減じた額121,470千円に、当年度純利益587,999千円を加えた額709,469千円が、24年度未処分利益剰余金残高709,470千円と一致しないのは、当意見書においては、当年度純利益及び当年度未処分利益剰余金の千円単位の数値を、百円未満切捨てにより確定させているためである。(ただし、平成22年度以降)

当年度未処分利益剰余金については、6億円を減債積立金に積み立て、残額の1億947万円を翌年度繰越利益剰余金として平成25年度に繰り越すこととしている。